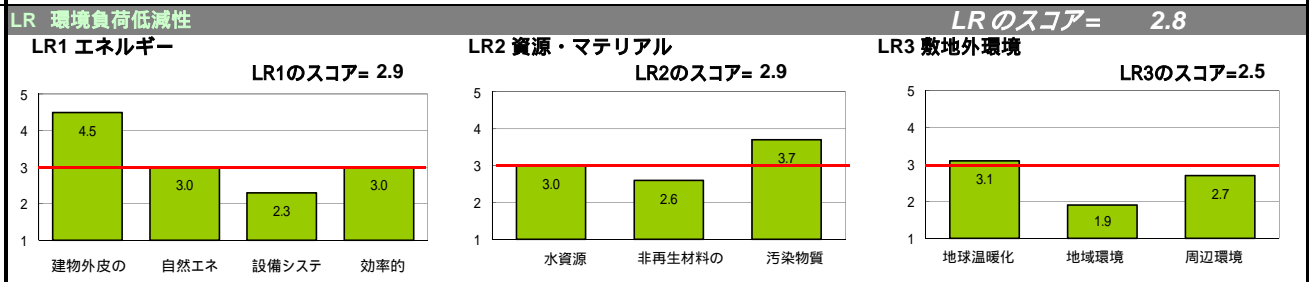
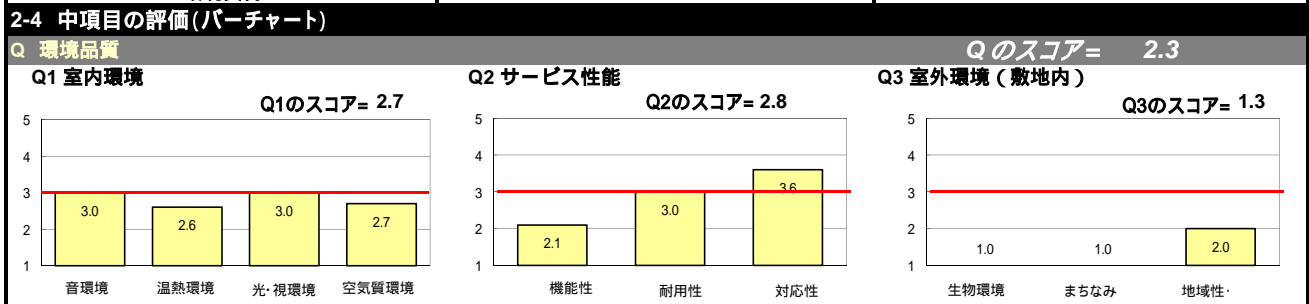
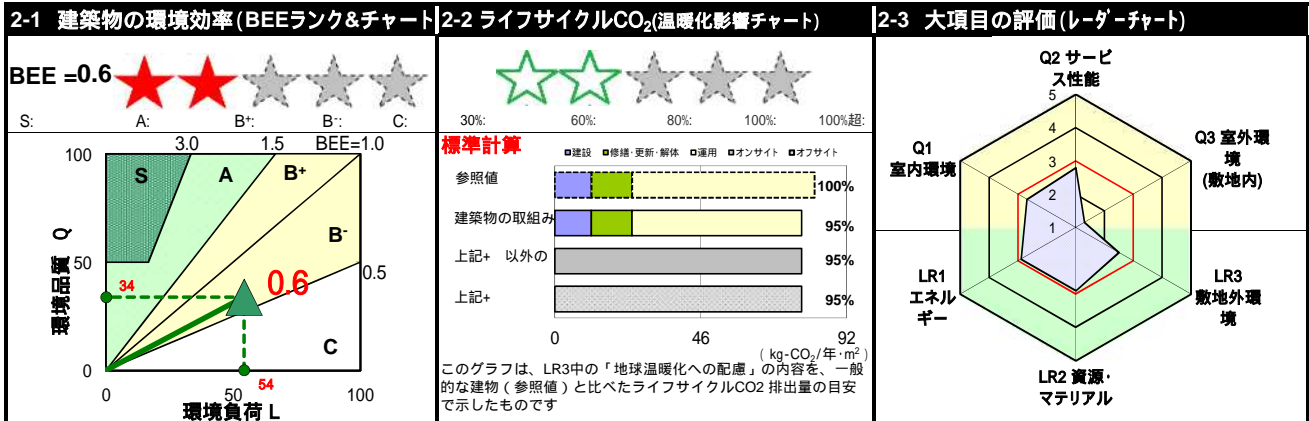


CASBEE® - 建築(新築)

評価結果

使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版, CASBEE埼玉県2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	狭山新築計画	階数	地上2F
建設地	狭山市上広瀬西久保土地区画整理	構造	S造
用途地域	市街化区域、準防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	5地域	年間使用時間	4,015 時間/年(想定値)
建物用途	集会所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年3月 予定	評価の実施日	2019年7月5日
敷地面積	10,639 m ²	作成者	西川学
建築面積	2,387 m ²	確認日	2019年7月30日
延床面積	2,861 m ²	確認者	川村 寛



3 設計上の配慮事項

総合	その他	
耐用年数の高い内装材料を採用することで、ライフサイクルコストの低減に努めている。また、環境にやさしい材料を採用し、地球環境保護に配慮している。	特になし	
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
特になし	耐用年数が高い内装仕上げ材と給排水配管を使用している。 壁長さ比率: 0.0679。	特になし
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
外皮性能が高い。	グラスウール、吹付け硬質ウレタンフォームA種1の断熱材を使用している。また、躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して95%。

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

**CASBEE-建築(新築)2016年版、CAS
狭山新築計画**

欄に数値またはコメントを記入

使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版、C
評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
0 建築物の環境品質									2.3
Q1 室内環境					0.40		-		2.7
1 音環境				3.0	0.15		-		3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		3.0		
1.2 遮音				3.0	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	1.00		3.0		
2 界壁遮音性能				3.0	-		3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	-		3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	-		3.0		
1.3 吸音				3.0	0.20		3.0		
2 温熱環境				2.6	0.35		-		2.6
2.1 室温制御				3.0	0.50		-		
1 室温				3.0	0.38		3.0		
2 外皮性能				3.0	0.25		3.0		
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		3.0		
2.3 空調方式				3.0	0.30		3.0		
3 光・視環境				3.0	0.25		-		3.0
3.1 昼光利用				-	-		-		
1 昼光率				-	-		3.0		
2 方位別開口				-	-		3.0		
3 昼光利用設備				-	-		3.0		
3.2 グレア対策				-	-		-		
1 昼光制御				3.0	-		3.0		
3.3 照度				-	-		3.0		
3.4 照明制御				3.0	1.00		3.0		
4 空気質環境				2.7	0.25		-		2.7
4.1 発生源対策				3.0	0.50		-		
1 化学汚染物質				3.0	1.00		3.0		
4.2 換気				2.0	0.30		-		
1 換気量				3.0	0.50		3.0		
2 自然換気性能				-	-		3.0		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.50		3.0		
4.3 運用管理				3.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				3.0	0.50		-		
2 喫煙の制御				3.0	0.50		-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-		2.8
1 機能性				2.1	0.40		-		2.1
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40		-		
1 広さ・収納性				3.0	-		3.0		
2 高度情報通信設備対応				3.0	-		3.0		
3 バリアフリー計画				3.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30		-		
1 広さ感・景観				3.0	-		3.0		
2 リフレッシュスペース				3.0	-		-		
3 内装計画				1.0	1.00		-		
1.3 維持管理				2.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				2.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				2.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				3.0	0.30		-		3.0
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				3.4	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		耐用年数が高い内装仕上げ材を使用している。		5.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		耐用年数が高い給排水配管を使用している。		5.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				2.4	0.20		-		
1 空調・換気設備				1.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				2.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.6	0.30	-	-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30	-	-	
1 階高のゆとり			3.0	-	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ		壁長さ比率:0.0679	5.0	1.00	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40	-	-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20	-	-	
2 給排水管の更新性			3.0	0.20	-	-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10	-	-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20	-	-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	1.3
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30	-	-	1.0
2 まちなみ・景観への配慮			1.0	0.40	-	-	1.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30	-	-	2.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			1.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.8
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.9
1 建物外皮の熱負荷抑制		外皮性能が高い。	4.5	0.20	-	-	4.5
2 自然エネルギー利用			3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEIm] = 0.93	2.3	0.50	-	-	2.3
4 効率的運用			3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1 モニタリング			3.0	-	-	-	
4.2 運用管理体制			3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護			3.0	0.20	-	-	3.0
1.1 節水			3.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70	-	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60	-	-	2.6
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.10	-	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		-	3.0	0.20	-	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		-	1.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.10	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		躯体と仕上げ材が容易に分別可能となっている。	4.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)		グラスウール、吹付硬質ウレタンフォームA種1の断熱材を使用している。	5.0	0.50	-	-	
3 冷媒			3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.5
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率が、一般的な建物(参照値)に対して95%。	3.1	0.33	-	-	3.1
2 地域環境への配慮			1.9	0.33	-	-	1.9
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1 雨水排水負荷低減			3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.7	0.33	-	-	2.7
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1 騒音			3.0	1.00	-	-	
2 振動			-	-	-	-	
3 悪臭			-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40	-	-	
1 風害の抑制			3.0	0.70	-	-	
2 砂塵の抑制			3.0	-	-	-	
3 日照障害の抑制			3.0	0.30	-	-	
3.3 光害の抑制			1.6	0.20	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			1.0	0.70	-	-	
2 昼光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	

CASBEE埼玉県

重点項目シート





使用評価ソフトバージョン

CASBEE埼玉県2016年版

1 建物概要

建物名称	狭山新築計画	BEE	0.6	BEEランク
------	--------	-----	-----	--------

2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア		緑の保全・創出のスコア		
3.1	+	1.0	=	4.1 
重点項目の各スコアの合計点				
がんばろう 6.0未満 	良い 6.0以上 	非常によい 6.8以上 	すばらしい 8.0以上 	

3 重点項目についての環境配慮概要

(1) ライフサイクルCO2の削減		スコア平均	3.1
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.1
< 配慮した内容を記述 > 特になし			
(2) 緑の保全・創出		スコア平均	1.0
< CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア >			
Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3.2 敷地内温熱環境の向上	スコア	1.0
LR3 敷地外環境	2.2 温熱環境悪化の改善	スコア	1.0
< 配慮した内容を記述 > 特になし			

: 入力欄